学校だより

みんなの森合小

～ 自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. ９
令和５年１２月８日
発行者
森合小学校長　渡邉かほる

＝　学校が、子供の様子を伝えるのではなく、保護者の思いを聴く日　＝

保護者主体の個別懇談会

来週から、第２回個別懇談会が始まります。お忙しい中、時間を調整してくださる保護者の皆さんに感謝いたします。第２回目の懇談会も前回同様、「**保護者主体の個別懇談会**」です。

「〇〇ができています」と先生が子供の様子を伝えるのではなく，保護者の思いを聴く日として、保護者の皆さんに語っていただく時間です。対話・コミュニケーションを大事にし、子供の教育について語り合います。一方的に要望を伝える「対立」の関係ではなく、協働の関係にしていきます。

私たち教員は、子供たちの育ちの過程に関わる伴走者です。保護者の皆さんとは、対話を通して、子供の教育について、一緒に考え、方向性を見付けていくことを大切にしていきます。保護者の皆さん、たくさん話をしてください。対話・コミュニケーション、協働の関係を大切にする学校を目指しています。

それぞれの違いを大切にすることを考える人権週間 12/4～10 人権デー12/10

１１月末の全校集会で、「人権…それぞれの違いを大切にする」ことについて考えました。

社会には、いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、障がい等を理由とする偏見や差別など様々な人権問題が存在しています。それらを「誰か」の問題ではなく、自分の問題、身近な問題として捉え、「人（自分や友達）を大切にする」力を発揮して「違いを大切にしよう」と話しました。

人権週間12/4～10（人権デー12/10）

自分も友達も一人一人違うことを知り、違いを大切にすることを考える１週間

【大切な約束】
相手が嫌がることはしない・言わない

人権とは

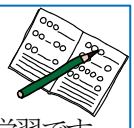
〇一人一人生まれた時からもっている「自分らしく生きる」権利

〇生まれた時から「自分らしく生きてよい」こと

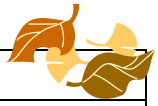
発揮したい力 **人を大切にする力**…自分や友達のよさを見つける。
一人一人の違いを大切にする。

【全校集会の様子】

子供達の主体的･対話的な学び 生活科･総合的な学習の時間で



森合小学区の地域の人やもの、ことから学ぶ学習です。気づきや探究を通して、地域が大好きな子供を育てます。人とのかかわりを大切にしています。



１年	生活科	「きせつをたのしもう」
２年	生活科	「わくわく　森合たんけんたい」
３年	総　合	「名人から学ぼう」
４年	総　合	「ふくしまの水探検隊」
５年	総　合	「作ろう！災害に強いまち森合」
６年	総　合	「森合小学校に新しい伝統を作ろう」

森合小「いじめ防止対策基本方針」改訂

福島市「いじめ防止対策推進法」の改定に伴い、森合小学校の「いじめ防止対策基本方針」も改訂いたしました。まず、大きく変わった点は「いじめは、どこにでも起こりうる」から「いじめは現に起きている」という考えです。常に子供の声に耳を傾け、深刻な事態、刑事罰の対象となる前に、全職員で対応していきます。そのためには、学校だけでなく、ご家庭の力が必要です。加害者、被害者と対立ではなく、「価値観の違いを学ぶ」場になるよう情報共有をしていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。　　（ＨＰ掲載、ＬＥＢＥＲ添付）